

岡山市可燃ごみ広域処理施設整備・運営事業

新施設の概要説明

1. 圧迫感や悪臭に配慮した配置計画

- 圧迫感を低減するため、既存施設より工場棟をコンパクトかつ低層化
- 住宅地への悪臭や飛沫の飛散に配慮し、洗車場は工場棟内に設置
- 煙突は既存工場より住宅地から離れた位置に配置



図. 施設鳥瞰図



図. 全体配置図

2. わかりやすく安全な動線計画

- 安全かつ円滑な通行のため、シンプルな車両動線を設定
- 一般来場者の安全確保のため、人と車両の動線を分離

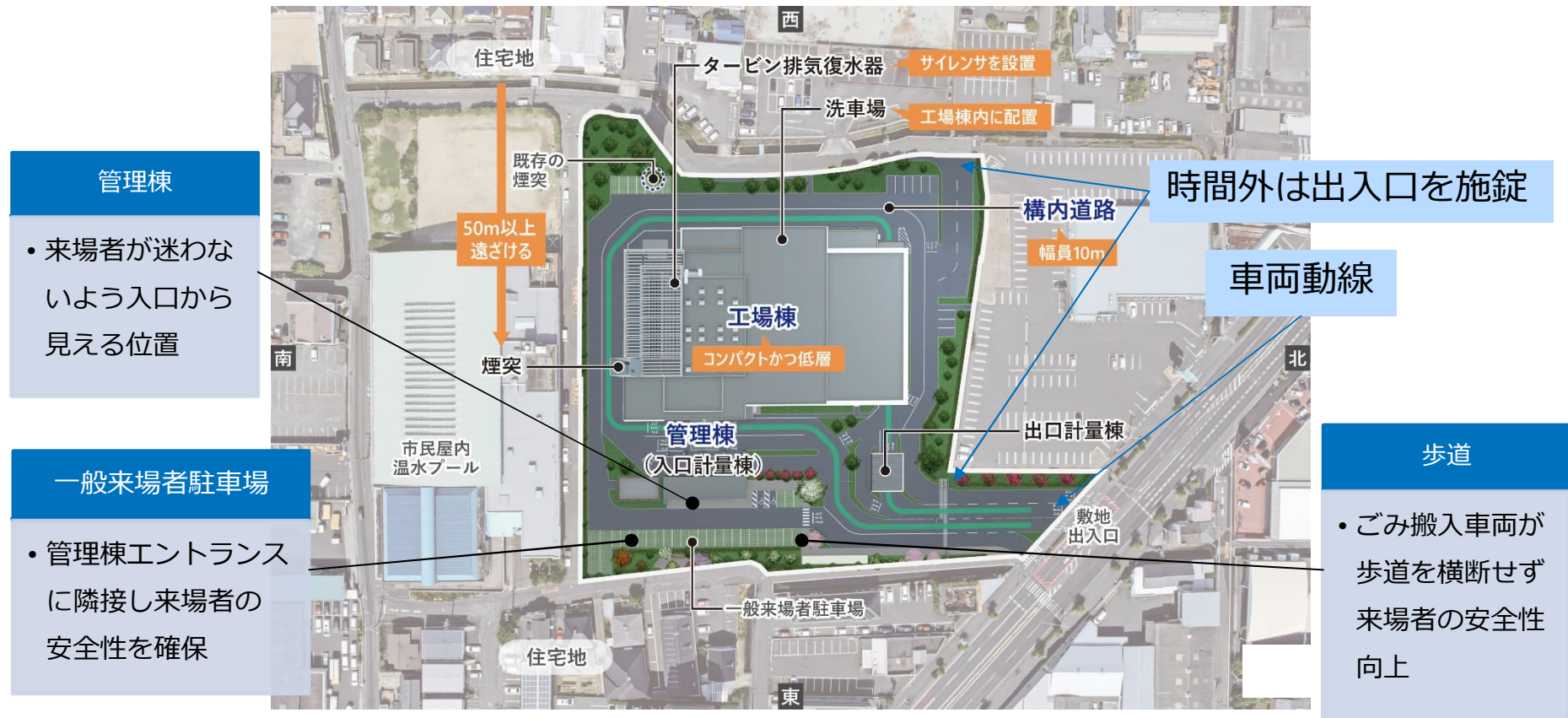


図. 全動線計画図

1. 地域に貢献するごみのエネルギー活用

- ごみのエネルギーを回収し、周辺公共施設へ蒸気や電力を供給
- 発電量を最大化するため、熱回収能力を強化
 年間余剰電力量：一般家庭約3000世帯分以上
 13,000MWh/年以上(基準ごみでの試算)
(旧岡南環境センターの約3倍の発電能力)

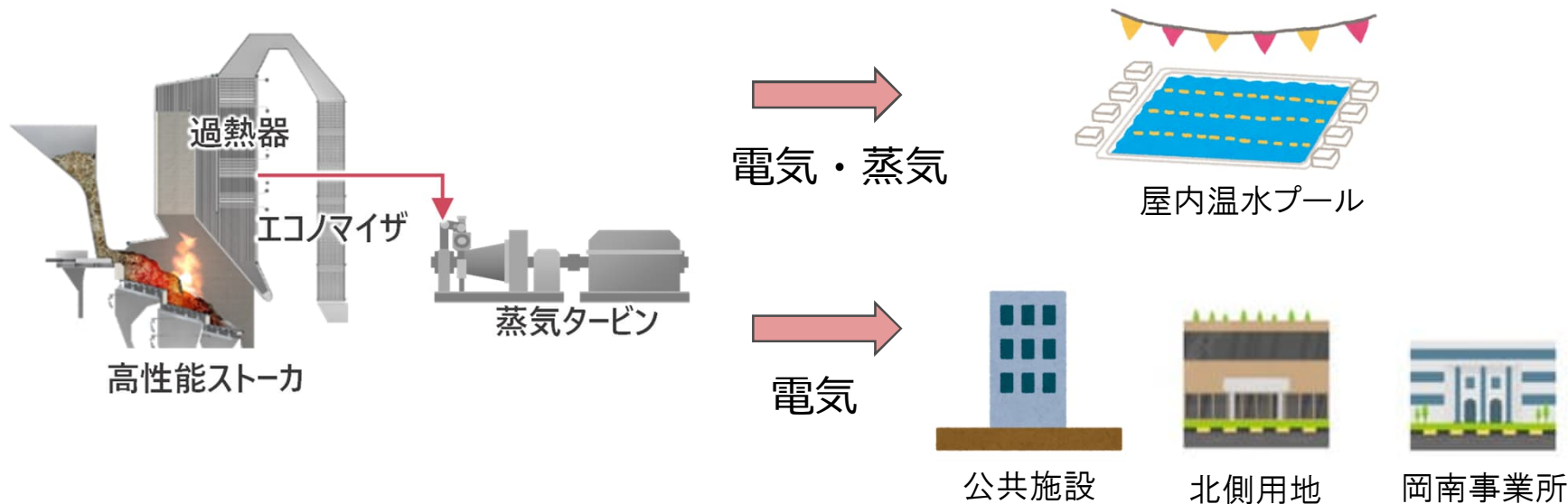


図. 周辺施設への蒸気・電力供給

2. 地域防災に貢献する施設計画

- 敷地全体を嵩上げし、施設全体を浸水から防止
- 管理棟に利便性の高い避難スペースを整備
(避難誘導は運営事業者、運営は市と運営事業者が行う)

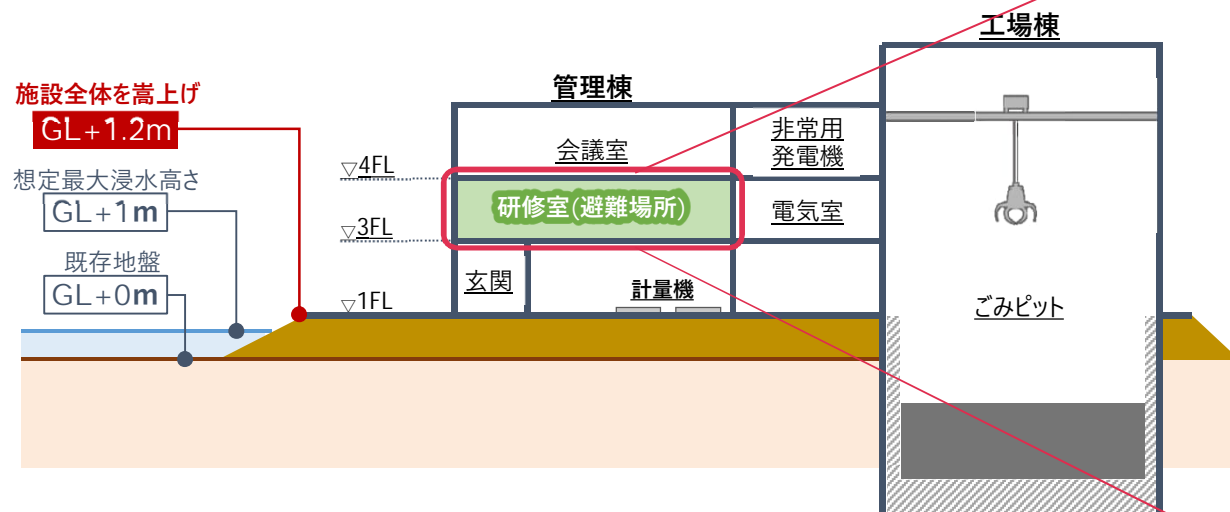


図. 浸水被害を防ぐ敷地全体の嵩上げ

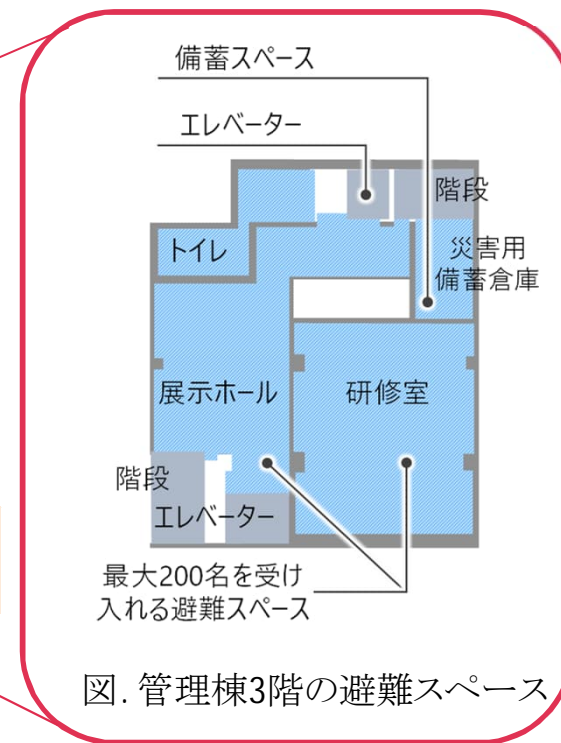


図. 管理棟3階の避難スペース

1. 地域環境保全に配慮した設備計画

- 実績に基づく排ガス対策で、基準値を確実に遵守
- 最新技術を導入し、安定性・経済性にも配慮

表. 排ガス基準値

項目		運転基準値	停止基準値	法令・条例規制値
ばいじん	g/m ³ N (1h平均)	—	0.01	0.04
塩化水素[HCl]	ppm (1h平均)	26	30	430
硫黄酸化物[SO _x]	ppm (1h平均)	16	20	約480
窒素酸化物[NO _x]	ppm (1h平均)	90	100	250
一酸化炭素	ppm (4h平均)	—	30	—
ダイオキシン類 [DXNs]	Ng-TEQ/ m ³ N	—	0.05	0.1
水銀	μg/m ³ N	—	30	30

※ダイオキシン類、水銀は、定期バッチ計測データによる
 ※停止基準値を超過した場合は、焼却炉の運転を停止します。

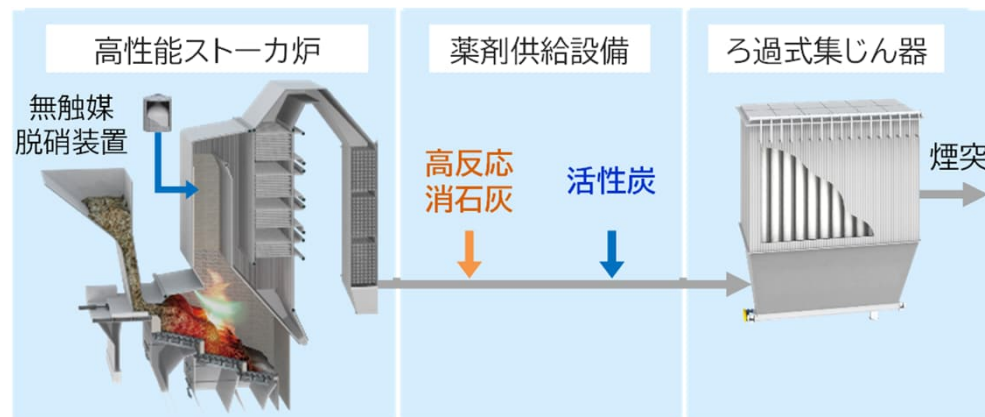


図. 高効率排ガス処理システム

<p>無触媒脱硝装置</p> <ul style="list-style-type: none"> • 焼却炉内に直接還元剤（尿素）を噴霧し、NO_xを還元除去 	<p>消石灰定量供給装置</p> <ul style="list-style-type: none"> • 煙突排ガス中に消石灰を供給し、HCl、SO_xを除去 <p>活性炭定量供給装置</p> <ul style="list-style-type: none"> • 排ガス量に応じて活性炭を供給し、DXNsを吸着除去 	<p>ろ過式集じん器</p> <ul style="list-style-type: none"> • 排ガスをろ過処理することによりばいじんを除去
--	--	--

2. 地域に潤いと憩いを創出する緑化計画

- 敷地東側に緑化した散策路・ポケットパークを整備
- エントランスエリアは季節の移ろいを感じる木々を植樹



図. エントランスエリアのイメージ図



図. ポケットパークのイメージ図



3.ごみ処理だけではない総合環境学習機能

- ごみ処理以外にも、環境問題や循環型社会について学べる総合環境学習機能を整備
- 見学エリアはユニバーサルデザイン、バリアフリーに配慮
- 地域に向けた環境学習イベントを実施



図. 環境問題学習エリアのイメージ図

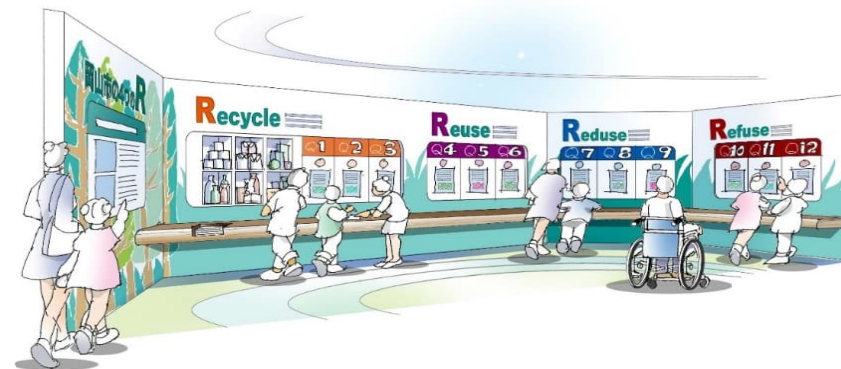


図. 循環型社会学習エリアのイメージ図